

令和 8 年度第 2 回美里町立小学校建設検討委員会概要録

招 集 期 日	令和 8 年 6 月 1 8 日（木曜日）
招 集 場 所	美里町役場 2 階 2 0 1 会議室
開 会 閉 会	開会 午後 1 時 3 0 分 閉会 午後 3 時 0 0 分
出 席 委 員	櫻沢 保（委員長）、横関 賢治（副委員長）、新井 英行、 櫻沢 克幸、櫻井 重美、深町 元秀、大澤 桂子、 重昆 孝、田畑 俊雄、持田 剛、高野 美咲、 関谷 剛、江森 貴文、瀧澤 政明、下田 裕美、高橋 洋
欠 席 委 員	逸見 猛、真下 薫
説明のために 出席した者	事務局 教 育 長 木村 健治、学校教育課長 上山 友子、 指導主事 熊谷 青士、指導主事 綿貫 祐介 学校開校準備室 主査 細村 知樹、倉林 宏太、 堤 美香、茂木 智孝 その他出席者 株式会社亦野建築設計事務所（美里町立小学校統合整備事業（設計業務） 受託業者）（以下、「設計業者」という。）相場 昭伸、後藤 秀徳、鶴沢 和弥、 本橋 佳樹、鈴木 海斗
傍 聴 人	0 人

次第	内容	
1 開会	事務局	定刻となったので開会する。 本日の会議の進行は事務局が行う。
2 あいさつ	委員長	本日の会議では、新統合小学校の建設にあたり、何を指し、どのような価値観を大切にし、どのような未来を創造したいかを示すステートメントについて審議いただく。 また、校舎構造の一部変更、各教室の配置、多目的・交流の場や図書室、メディアルーム等の活用方法についても協議いただきたい。 内容は多岐にわたるが、委員各位の協力をお願いしたい。
	教育長	本日はグループ協議を予定しているため、意見交換しやすい座席配置としている。 また、設計業務を担当する株式会社亦野建築設計事務所にも出席いただいている。 統合小学校の建設については、皆様の意見をいた

		だきながら少しずつ形が見えてきている。 本日は基本コンセプトや教室配置等について説明するが、変更点も含めて皆様の意見をいただきながら、より良い統合小学校としていきたいので、理解と協力をお願いしたい。
	事務局	本事業の設計業務を担当する株式会社亦野建築設計事務所の担当者を紹介する。
3 議事	事務局	議事進行は委員長にお願いする。
議事（１）	委員長	議事（１）新統合小学校のステートメントについて、事務局から説明させる。
	事務局	資料１をもとに説明する。 ステートメントとは、組織やプロジェクトが何を目指し、どのような価値観を大切にし、どのような未来を創造したいかを表明する指針となる言葉であり、新しい学校づくりの「キャッチフレーズ」のようなものである。 小学校統合基本計画の理念や、これまでのワークショップ等で寄せられた皆様の思いを基に、学校関係者、保護者、地域住民が共通認識を持って新しい学び舎づくりを進めていくため重要な羅針盤である。 事務局案として、 「そだてる、まざりあう、つながる 未来をひらく学び舎へ」 を掲げ、一人ひとりを大切にしながら、児童と生徒が出会い、学びあい、家庭や地域ともつながることで、学びが学校の中だけで終わらず、地域や未来へ広がっていく学び舎を目指す内容としている。 今後、校歌、教育目標、教育課程、学校行事等にもつながるものとしていきたい。
	委員長	ステートメントは、教育目標とは別に、学校づくり全体の方向性を示すものである。 挙手で質疑を受け付ける。 →質疑がないため、議事（１）は了承された。
議事（２）	委員長	議事（２）統合小学校構造の変更について、事務局から説明させる。
	事務局	資料２をもとに説明する。 補足として、図面の中央棟左側の斜めの形状は、中学校との間にある渡り廊下の大屋根形状に合

		わせているためである。 小学校統合基本計画では、新校舎は地元産材を活用した木造としていたが、児童の教室を配置する北棟・南棟は木造のままとし、中央棟の構造を木造から鉄骨造へ変更したい。 変更理由は、屋上に重量のある設備を設置する必要があるためである。具体的には空調室外機と太陽光パネルの設置を想定している。 空調室外機を地上や中庭に設置した場合、遊ぶスペースが狭くなるほか、特別支援教室付近で騒音が発生する懸念があるため、屋上設置が望ましい。 また、新統合小学校ではＺＥＢ化を目指し、環境に配慮したエコスクール認定の取得を目指している。太陽光パネル設置はそのために必要であり、補助金面でもメリットがある。 これらの設備を安全に屋上へ設置するためには、中央棟を鉄骨造とすることが合理的である。 なお、鉄骨造に変更しても、内装には木材を用い、木の温もりを感じられる空間としていく。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。
	委員	構造変更に伴う費用面の考え方について確認したい。
	事務局	木造と鉄骨造では、基本的な建設費に大きな差はないと考えている。今回のように重量のある設備を木造の建築物に載せる場合は、太い木材や複雑な構造補強が必要となり、かえって高コストとなる可能性がある。そのため、費用面も考慮した上で、鉄骨造が望ましいと判断した。
	委員長	→ほかに質疑がないため、議事（２）は了承された。
議事（３）	委員長	議事（３）各教室等の配置について、事務局から説明させる。
	事務局	資料３をもとに説明する。 前回会議で決定した体育館などの配置を反映した図である。 今回は校舎内の教室などのレイアウトと体育館諸室の配置案を提案する。 本来であれば、教室などの細かい配置について

		も、委員の皆様と相談しながらと考えていたが、スケジュールの関係上、プロポーザル時の提案をベースとしつつ、校長や教職員へのヒアリングを重ね、教育的視点を取り入れて作成した。 体育館１棟集約への対応、建物構造、児童生徒の動線、基本計画のコンセプトを踏まえて積み上げてきた案である。 詳細については設計業者より説明する。
	設計業者	校舎は、管理諸室と特別教室を集約した中央棟、普通教室と特別支援教室などを配置した北棟・南棟からなり、コの字型配置により中庭を形成する。 校舎東側に小中学校一体の体育館を配置する。埋蔵文化財包蔵地への影響を考慮した建物配置としている。 １階には昇降口、事務室、校長室、職員室、保健室等をまとめ、メディアルーム、多目的・交流の場、図書室を連続的に配置する。多目的・交流の場は１学年が集まって給食を取れる広さとしている。家庭科室とも隣接させ、調理したものを食べることができる。 北棟には図工室、理科室、通級教室、特別支援教室を配置し、南棟には低学年普通教室と少人数教室を配置する。 ２階にはワークスペース、音楽室、多目的ホール、会議室、更衣室、中学年・高学年の普通教室と少人数教室を配置する。 体育館は南側にホールを設け、その周辺に指導員室、トイレ、更衣室、階段、エレベーターを配置する。 アリーナは、防球ネットを兼ねた間仕切りで区切ることができる。全校集会や式典時には一体利用を想定している。 中学校から体育館へは、屋外連絡通路から小学校校舎の中を通り、中庭に面した屋外渡り廊下を通り、体育館に移動できる。屋根付きのため雨天時も濡れずに移動できる。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。
	委員	体育館は災害時の避難所となるのか。
	事務局	避難所として想定している。

	委員	車椅子利用者もいる。避難所となるなら、バリアフリー対応や車椅子利用が可能なトイレが必要ではないか。
	設計業者	バリアフリートイレを配置する計画である。詳細は今後詰めていく。
	委員	体育館内のトイレの数や配置について、防災時の利用を踏まえて十分に確保されているのか。
	事務局	現時点ではブース数等の詳細は未整理であるが、なるべく多く確保できるよう検討していく。校舎の中央・北・南棟の各エリアに男女別トイレと必要に応じて多目的トイレを設ける方針である。
	委員	体育館２階に放送室があるが、１階に配置した方が使いやすいのではないか。
	事務局	構造上問題ないため、意見として承り、反映について検討する。
	委員	男女別だけでなく、誰でも利用しやすいトイレや、乳幼児連れなどへの配慮も必要ではないか。
	事務局	意見として承り、反映について検討する。
	委員	災害時には女子トイレが混雑しやすいことも考慮してほしい。
	事務局	十分配慮して検討する。
	委員	男子トイレの個室化について、最近の事例を踏まえて検討してほしい。
	事務局	意見として承り、反映について検討する。
	委員	多目的・交流の場やメディアルーム等の点線部分は可動間仕切りを想定しているのか。
	事務局	現時点では間仕切りを設けない設計としているが、次の議題で使い方について意見をいただきながら検討していく。
	委員	小学校側へ給食はどのように運搬するのか。
	事務局	中学校側から一度外に出て小学校側へ運搬する計画であり、屋外運搬に対応可能なコンテナを用いる想定である。
	委員	小学校のトイレの器具サイズについて、低学年向けの小型器具を採用するのか、それとも通常サイズなのか。
	設計業者	通常サイズを想定している。
	委員長	→ほかに質疑がないため、議事（３）は了承された。

議事（４）	委員長	議事（４）中庭、多目的・交流の場、図書室、メディアルーム、大階段の活用について、事務局から説明させる。
	事務局	資料４及び５をもとに説明する。 資料４は、基本計画策定時のワークショップや建設検討委員会で出された意見のうち、中庭、図書室、多目的・交流の場に関する意見を整理したものである。 資料５は他自治体の中庭、多目的・交流の場、図書室、メディアルーム、大階段の参考例を整理したものである。 これらを踏まえ、中庭、多目的・交流の場、図書室、メディアルーム、大階段をどのように活用するとよいかについて、各グループで意見交換をお願いしたい。
	委員長	グループ１から４に分かれて協議を行い、その後、代表者に意見の発表をお願いする。
	委員 グループ １	グループ１では、開放的で明るい雰囲気の中で学習できる空間が望ましいとの意見があった。 図書室については、大階段と融合した開放感のある空間が良いとの意見が出た。 一方で、窓が大きく開放的になると日射や暑さへの配慮が必要であり、夏場に使いにくくならないよう空調面も含めた検討が必要との意見があった。 多目的・交流の場については、地域とのつながりを考えると、昇降口脇にあることは利点であるとの意見があった。 また、屋内でも安全に体を動かせるような遊びの要素を取り入れた空間があると良いのではないかと意見もあった。
	委員 グループ ２	グループ２では、中庭について、人工芝やベンチの設置、防災時にはかまどベンチとしても使える工夫があると良いとの意見があった。 一方で、職員室から見えにくい位置でもあるため、安全面への配慮が必要との意見もあった。 畑としての活用については、低学年児童が利用しやすい位置に別途設ける方がよいのではないかと意見があった。 メディアルームについては、階段で本が読めるこ

		とは良い案であるが、本棚周辺への座り込みを含め、使い方には工夫が必要であるとの意見があった。 また、制作物等を飾れる空間としてもよいのではないかと意見が出た。
	委員 グループ 3	グループ3では、中庭について、芝生は管理面で課題があるため、ゴムチップのような柔らかい舗装材が良いのではないかと意見が出た。 これにより、雨天後でも軽い運動や低学年児童の遊びに活用しやすいのではないかと意見があった。 シンボルツリーの設置もよいのではないかと意見もあった。 また、ウッドデッキとして町のイベントにも活用できるようにする案も出たが、小学生の利用を考えると、ゴムチップの方が現実的ではないかと意見があった。 図書室や交流空間については、壁をできるだけ設けず、一体的な空間となると良いとの意見があった。 本棚を活用して空間を緩やかに区切る案や、地域にも開放できるようにする案、自習スペースにコンセント等を設ける案が出された。 大階段については、発表の場として活用できるよう、スクリーン等の設備をあらかじめ検討しておくとういとの意見があった。
	委員 グループ 4	グループ4では、交流の場として芝生を活用する案が挙げられたが、管理の負担が懸念されるとの意見もあった。 上履きのまま出られ、休み時間にも気軽に使えるような設計が望ましいとの意見もあった。 また、ゴムチップ舗装に目印となるドットを設け、コーンを活用することで、ドッジボールコートとしても使える汎用性のある整備が望ましいとの意見があった。 図書室や大階段については、階段を観客席として発表が見られるような構成や、スクリーン設置等の工夫が必要ではないかと意見が出た。 また、図書室周辺を必要に応じて閉じることができ構成や、本棚を可動式にするなど、学習と地

		域開放の両面に対応できる柔軟な空間づくりが必要との意見があった。 現時点で使い方を固定するのではなく、将来的な活用の可能性を広げる工夫をしておくことが大切との意見があった。
	事務局	各委員から多様な意見が出された。 中庭、多目的・交流の場、図書室、メディアルーム、大階段の活用イメージがより明確になった。 いただいた意見を踏まえ、設計上の制約や動線、安全面等も考慮しながら、反映可能なものは取り入れ、引き続き設計を進めていきたい。
	委員長	→議事（４）については、各グループからの意見を今後の設計に生かすこととした。
議事（５）	委員長	議事（５）今後のスケジュールについて、事務局から説明させる。
	事務局	資料６をもとに説明する。 基本設計は８月末まで、実施設計は令和９年３月末までを予定している。 新体育館工事は令和９年５月から令和１０年４月末、新小学校校舎等の工事は令和９年９月頃から令和１１年２月末までを予定している。 令和１１年２月末の建物完成後に引っ越しを行い、４月１日の開校を目指す。 なお、今後の協議や進捗により変更となる場合がある。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。 →質疑がないため、議事（５）は了承された。
議事（６）	委員長	議事（６）その他について、事務局から説明させる。
	事務局	前回会議で小学校開校準備部会について説明した。参考資料のとおり部会の下に分科会を置き、今後、校名、教育課程、通学班、学童等に関する事項について検討していく。 準備部会で検討した内容については、建設検討委員会に報告していく。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。 →質疑がないため、議事（６）は了承された。
７ 連絡事項	事務局	次回の開催は８月中旬を予定している。日程が確定次第、連絡する。 基本設計の内容説明や、部会の進捗報告を予定し

		ている。
8 閉会	副委員長	第2回美里町立小学校建設検討委員会を閉会する。

以上の内容は会議の顛末を記したもので相違ないことを証するため署名する。

令和 8 年 7 月 17 日

委 員 櫻 沢 克 幸

令和 8 年 7 月 23 日

委 員 横 関 賢 治